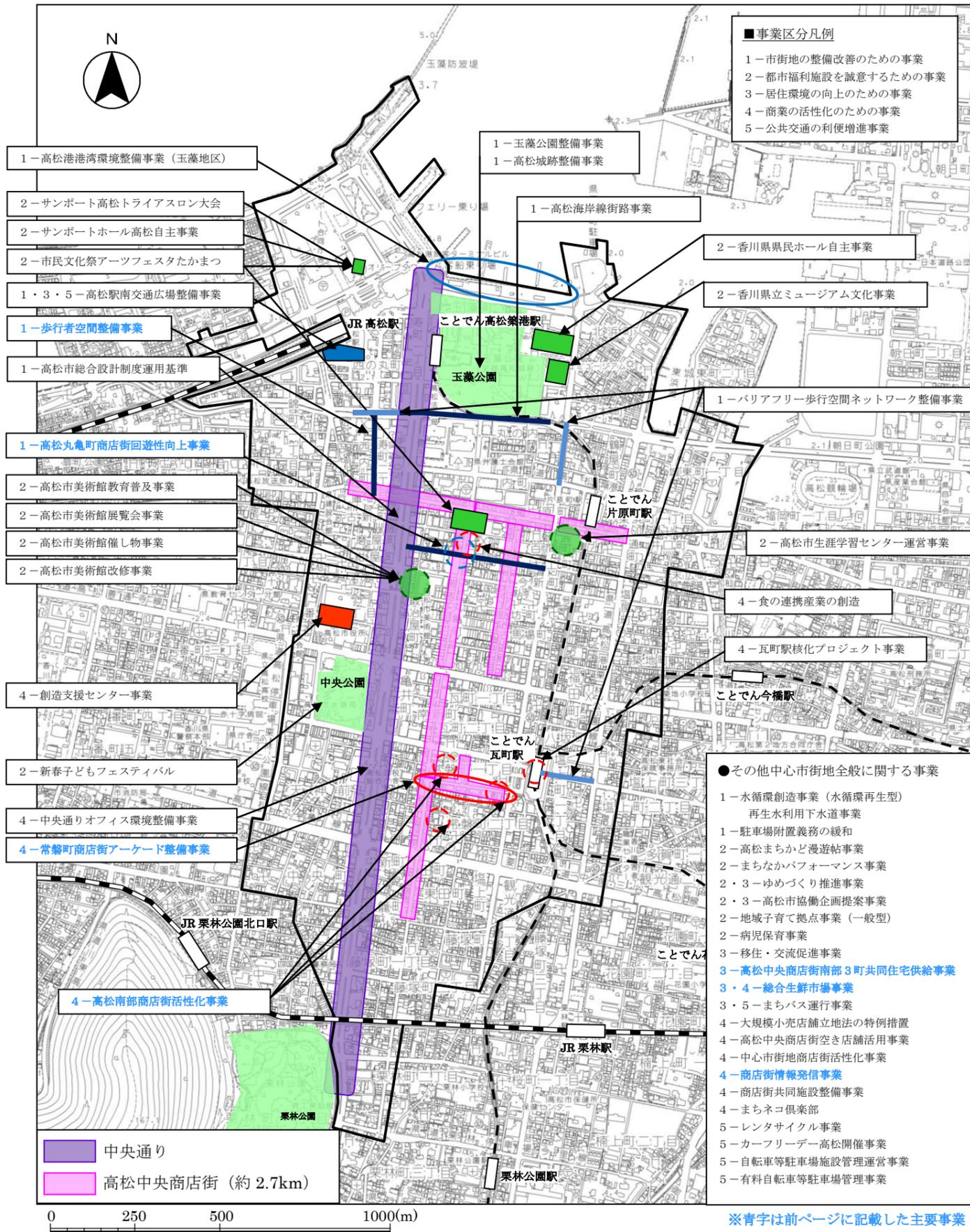


◇中心市街地活性化事業等の実施箇所



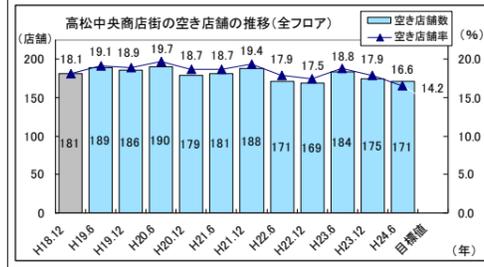
第2期高松市中心市街地活性化基本計画（概要版）（平成25年6月28日認定）

◇中心市街地の現状

本市では平成19年5月に「高松市中心市街地活性化基本計画」（第1期計画）を策定し、中心市街地の活性化に取り組みました。第1期計画に基づく各種の施策・事業により、再開発が進んだ丸亀町商店街やその周辺で通行量の増加が進んだほか、定住人口の減少にも歯止めがかかるなど、にぎわいが創出され、一定の効果がありました。

中心市街地の空き店舗

丸亀町商店街では、A、B、CおよびG街区の再開発事業が完成したことにより、魅力的な店舗が増加しました。また、中央商店街南部地域でも空き店舗率がやや改善されました。



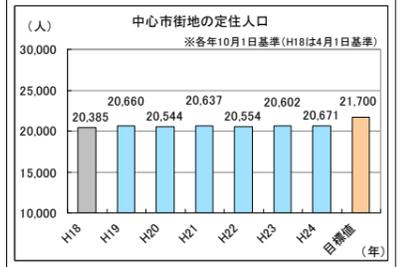
中心市街地の歩行者通行量

丸亀町商店街 A、B、C および G 街区の再開発事業が完成したことにより、中央商店街北部地域の歩行者通行量は増加しましたが、中央商店街全体では通行量の増加はイベント等による限定的なものとなっています。



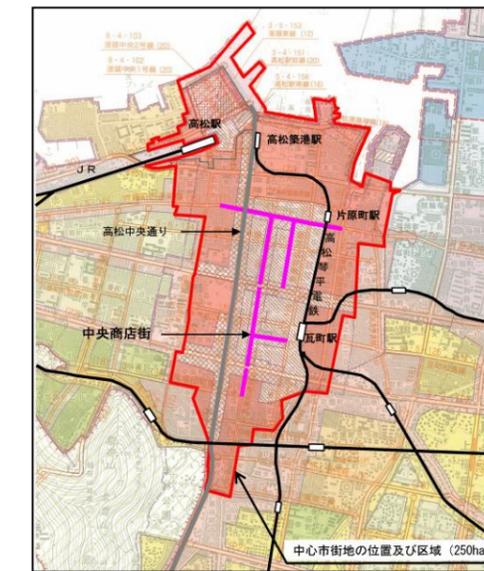
中心市街地の定住人口

丸亀町商店街の再開発事業において、都市型住宅が整備されたことで居住人口が増加し、中心市街地での人口の減少には一定の歯止めがかかりました。



今後は、これまで整備されてきた丸亀町商店街など中央商店街北部地域での、にぎわいづくりを継続しながら、にぎわいを中央商店街南部地域に広げるとともに、減少に歯止めがかかった中心市街地を多くの人々が住む場所となるよう、居住環境の充実等に取り組むなど、引き続き、中心市街地の活性化を図ることが必要です。

◇計画対象区域



【計画区域設定の考え方】

- 本市の中心市街地（計画区域）は、第1期計画の計画対象区域と同様に、
- ① 四国有数の商業集積エリアである「中央商店街」を中心に据えるとともに、回遊により中央商店街を訪れる人々が、
 - ② 日常的に働く主要事業所等が集積立地する「中央通り沿道」と「サンポート高松」
 - ③ よく利用する公共公益施設のうち、主要行政施設が集積する「丸の内」・「番町」・「天神前」、主要文化施設が集積する「玉藻町」を含み、
 - ④ 広域からの来街時に、回遊の起終点となる鉄道駅のある区域を、中心市街地として設定します。

◇1期計画での課題、目標等

第1期計画では、以下の課題に対して、活性化の目標、数値指標を定め、中心市街地の活性化に取り組みました。

【第1期計画の課題】

- ① 民間による自発的な取組を活かした、商業・サービスの高度化
- ② 公民相互の取組を活かした、高齢者にも優しい、回遊したくなる中心市街地づくり
- ③ 民間開発による定住人口増加を活かした、コミュニティの再生・創出

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	
				(数値)	(年月)
テナントミックス等による、商業・サービスの魅力強化と効果の波及	中央商店街の空き店舗率(全フロア)	18.1%	14.2%	16.6%	平成24年6月
来街者の回遊促進	中心市街地の小売業年間商品販売額	104,984百万円	110,000百万円	79,644百万円	平成24年10月
魅力的な住宅の供給による、居住促進	中心市街地での歩行者通行量(休日)	119,844人	150,000人	121,286人	平成24年10月
	中心市街地内の定住人口	20,385人	21,700人	20,671人	平成24年10月

○第2期高松市中心市街地活性化基本計画の計画期間

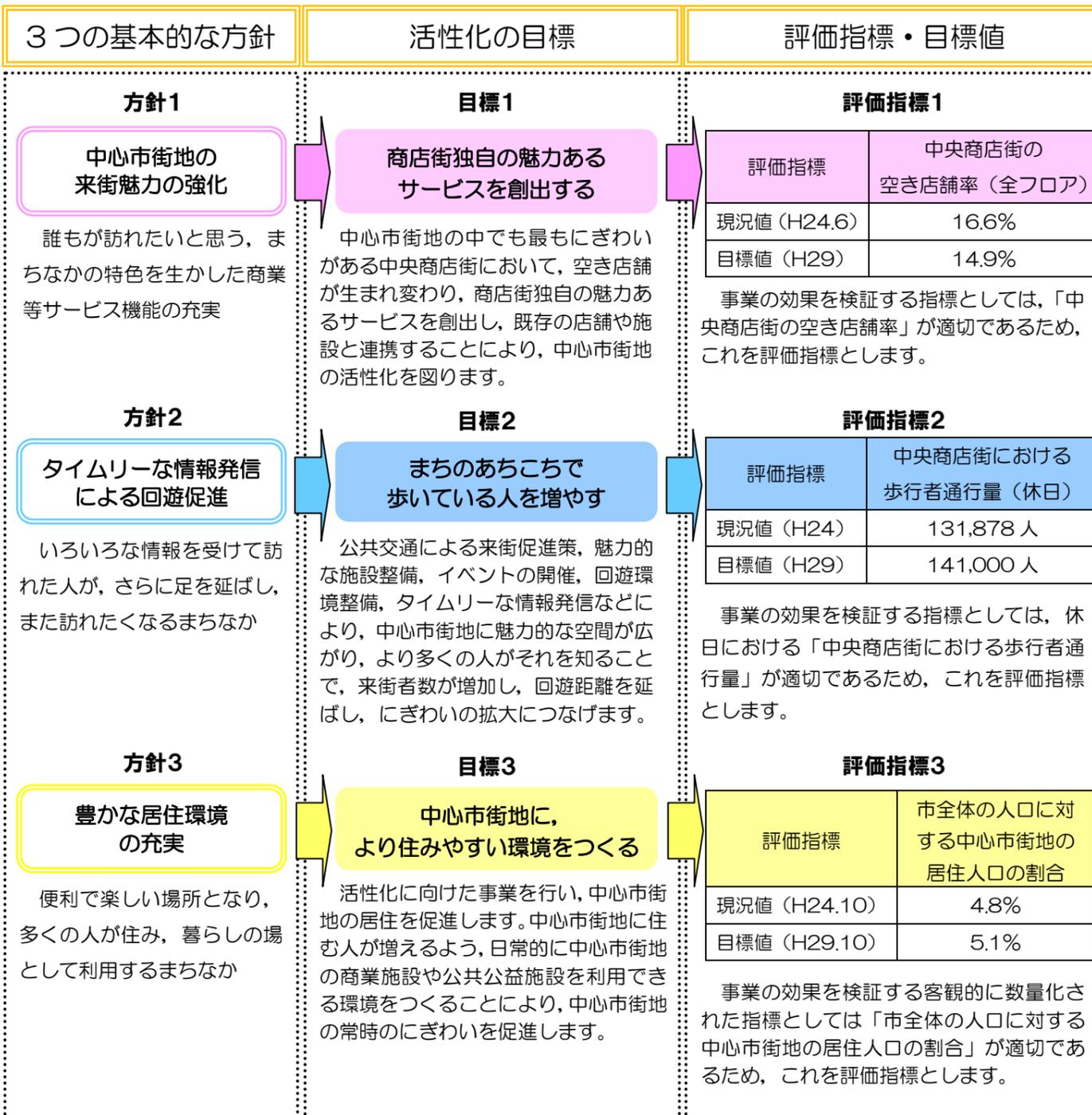
第2期高松市中心市街地活性化基本計画の計画期間は、平成25年6月から事業の推進および完了による活性化効果が見込まれる平成30年3月までとします。

計画期間：平成25年6月～平成30年3月（4年10か月）

○第2期高松市中心市街地活性化基本計画の基本方針、目標、数値目標

第2期高松市中心市街地活性化基本計画では、今後、取り組む各種事業が活性化の相乗効果を生み、止まることなく活性化が続き、広がるよう、その仕組みや仕掛けを重視して、にぎわい・回遊性・豊かな暮らしのあるまちを目指すこととし、以下に掲げるコンセプトの下で、中心市街地の活性化を進めます。

— にぎわい・回遊性・豊かな暮らしのあるまちを目指して —



◇主要事業について

商店街独自の魅力あるサービスを創出する

○高松丸亀町商店街回遊性向上事業

丸亀町商店街C街区に渡り廊下を設置することで、同街区の回遊を促進し、商業施設としての価値を高めます。



高松丸亀町商店街C街区連絡通路のイメージ図

○高松南部商店街活性化事業

「ブランドショップや高層マンションが建ち並ぶ先進的」な北部エリアに対して、南部3町商店街では「生活エリアと密着した魅力ある下町」をコンセプトに活性化事業を展開します。



現在の中央商店街南部地域

○商店街情報発信事業

中央商店街の情報を発信していくことで、市民が商店街の魅力を認識し、商店街への関心を持つ機会をつくります。

まちのあちこちで歩いている人を増やす

○歩行者空間整備事業

サンポート高松と中央商店街の更なる活性化を目指し、相互の連携や回遊性を高める歩行者ネットワーク等整備を行います。

○常磐町商店街アーケード整備事業

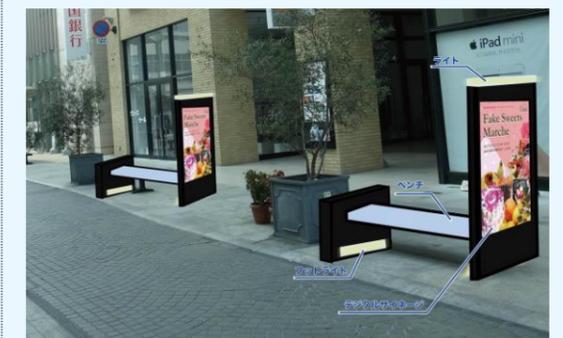
歩行者にとって快適な空間を創造するため、アーケード葺き替え工事を実施し、商店街への来街を促進します。

○総合生鮮市場事業

商店街に総合生鮮市場を導入し、まちなか居住者の日常の買い物等、快適な生活環境を確保します。

○商店街情報発信事業（再掲）

中央商店街の情報を発信していくことで、市民が商店街の魅力を認識し、商店街への関心を持つ機会をつくります。



イメージ図（休憩スペースでの情報発信）

○高松南部商店街活性化事業（再掲）

「ブランドショップや高層マンションが建ち並ぶ先進的」な北部エリアに対して、南部3町商店街では「生活エリアと密着した魅力ある下町」をコンセプトに活性化事業を展開します。

中心市街地に、より住みやすい環境をつくる

○高松中央商店街南部3町共同住宅供給事業

常磐町、南新町、田町の各商店街にある空き店舗のうち、上層部分を活用して、アパート等の共同住宅施設を設置することで、高松中央商店街南部地域ににぎわいをもたらします。

○総合生鮮市場事業（再掲）

商店街に総合生鮮市場を導入し、まちなか居住者の日常の買い物等、快適な生活環境を確保します。